

## 令和6年度 第1回社会教育委員会議 会議録

1 開催日時 令和6年6月12日(水)午後2時00分～午後3時35分

2 会 場 山形市中央公民館4階 大会議室

### 3 出席者

(1) 委員 10名

阿部康子委員、岡野守昭委員、渋間淳一委員、鈴木善太郎委員、高橋修委員、  
檀上祐樹委員、新関徳次郎委員、星野みち子委員、細川直弥委員、山口由美委員

(2) 事務局 13名

教育長、教育部長、少年自然の家所長、図書館長、  
次長(兼)社会教育青少年課長、  
社会教育青少年課社会教育推進総括主幹(兼)社会教育青少年課長補佐、  
社会教育青少年課長補佐(兼)青少年係長、社会教育青少年課長補佐(兼)社会教育係長、  
社会教育係員(5名)

### 4 傍聴者

(1) 一般傍聴者 なし

(2) 報道機関 なし

### 5 内容

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

(3) 教育長あいさつ

(4) 自己紹介

(5) 報告

ア 令和5年度 of 社会教育事業の実施状況について

イ 令和6年度 of 社会教育事業の計画について

(6) その他

ア 第15回山形県社会教育研究大会について

イ 山形市子ども会育成連合会の会報について

(7) 閉会

### 6 資料の名称

(1) 事前配付

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| ・会議資料(次第が表紙) | ・別紙1: 部屋別利用率      |
| ・公民館事業(参考資料) | ・令和6年度 山形市社会教育の方針 |

## 7 議事録

(1) 開会 (社会教育青少年課社会教育推進総括主幹 (兼) 社会教育青少年課長補佐)

(2) 委嘱状交付

※ 新任の細川直弥委員、高橋修委員、岡野守昭委員、檀上祐樹委員 (遅参後) に教育長より交付された。

(3) 教育長あいさつ

(4) 自己紹介

※ 委員及び事務局の自己紹介

(5) 報告

※ (5) 報告から (6) その他にかけて、新関代表委員が座長を担った。

座 長 | しばらくの間、スムーズな進行にご協力を。アについて事務局より報告を。

### ア 令和5年度の社会教育事業の実施状況について

※ 事務局より資料に基づき説明。

座 長 | 皆さんからご意見、ご質問はないか。

令和4・5年度より若者支援に力を入れており、その前から子どもに対する支援にも力を入れている。子ども対象の事業に若者がボランティアとして参加するといういい流れができている。中央公民館のリニューアルも行われ、4階と5階が高校生の勉強しやすい場となっている。中央公民館は午前9時開館となっているが、試験前などは開館前から列を作っている。

質問がなければイに移る。事務局の事業説明の後、委員の方々から事業についてのアドバイスをいただきたい。

### イ 令和6年度の社会教育事業の計画について

※ 事務局より資料に基づき説明。

座 長 | アドバイスをいただきたい。

委 員 | アドバイスより期待を申し上げたい。世代間交流事業をやり多いものにしてほしい。わかりやすく魅力的なネーミングを検討し、呼びかけのきっかけとなるようなものを期待している。

SDGs については、環境、水や緑、ゴミといったものを想起することが多いが、私たちを

取り巻く環境全般に関わるものである。男女共同参画センター「ファーラ」と協力した企画などがあるとよいと思う。

また、公民館の利用率について、例えば中央公民館には10の部屋があるが、その内5つが30%以下の利用率というのはもったいない。街中に公民館を設置するというのは英断であり、街中に集うのはいいことだと思っていた。先日使用した際、駐車料金が高いため使用するな、との仲間からの声が多かった。これは仕方のないことなのか。

座 長

アドバイスについてはしっかり受け止めていただき、今の質問について答えていただきたい。

事 務 局

利用率についての理由を申し上げたい。公民館全般に言えることだが、広い部屋と洋室は高い。特定の利用目的で利用される和室や調理室、パソコン室は他の部屋に比べて低くなっている。和室は時代の流れによるニーズの変化や利用層の高齢化により利用が少なくなっている。一方で、和室でなければ活動できないサークルもあるため、確保しておく必要がある。北部公民館では利用率の低い和室を地域の要望で洋室へ模様替えをした。地域の声に応じて公民館の部屋について検討し、利用率の向上を図っていきたい。

中央公民館に駐車場がないことは完成当初からの大きな問題点である。公民館利用者も市役所の駐車場を無料にする措置がとれるか検討していきたい。

委 員

市役所の駐車場は、遠くはないが、高齢者にとって近いとも言い難く、利用は難しい。和室も日本文化の基本で必要なものだ。しかし全体の半分が利用率30%以下というのはやはりもったいない。今後の利用率向上に期待したい。

委 員

西部公民館では中高生の利用もあるが、利用者の多くは高齢者である。さらにその高齢者の中でも線路より西側の住民の利用が主であり、線路より東側の住民には西部公民館がどこにあるかわからない人も多い。婦人会・民生委員が子どもたちを呼び込んでおり、また高校生の学習場所として若者の利用もある。ただし、少し暗いので、もう少し環境を良くする必要がある。

放課後子ども事業についてだが、学童保育との兼ね合いがある。二小の場合、子どもが少なくなっているが、ほとんどの児童が学童保育に通い、断らざるを得ない状況で、学童保育の数を2つから3つへ増やさないと対応できない局面にある。これと放課後子ども教室との兼ね合いをどう考えていくか。

事 務 局

放課後子ども教室は文部科学省の事業で、放課後の学びの場を作ることが目的である。一方で、放課後児童クラブは厚生労働省・子ども家庭庁の管轄で、いわゆる保育を目的とした児童の預かりを行うものである。この2つが連携して子どもたちの放課後の安心安全を目指したのが「放課後子どもプラン」。放課後子ども教室の開催は、市内小学校の中で大曽根小だけ。行政主体型放課後子ども教室では、8回のうち何回かは児童クラブとの連携を進めている。市内全児童の学びを支えるために、可能な範囲で市内を回りたい。

事 務 局

西部公民館の学習スペースの照明について。本庁舎は蛍光灯がLED化され、その他の施設についても順次LED化される予定だが計画は定かでない。改善方法を検討したい。

委 員

コミュニティ・スクールについて感じたことを述べたい。本来の目的は学校と地域がパートナーとして、一体となって学校が抱える教育課題を共有し、解決することだろう。し

かし、地域交流やふるさと教育などを地域住民と積極的に行っている状態が、活発なコミュニティ・スクールであると一般に思われているように感じる。それを重視すると学校や学校運営協議会委員の負担が大きくなる。5ページにあるように、各学校・地域における特色ある地域学校協働活動や学校運営協議会から実施につながった地域学校協働活動を挙げているが、こういった競い合うような形になると長続きしない。本来の目的を常に確認しながら、地域学校協働活動を実施していくことが重要である。無理のない範囲で、学校の教育課題の解決のために地域学校協働活動を行っていくという考え方を忘れないでほしい。それぞれの活動が各地域で必要なこと、大事なことだろうが、一つ一つ厳選しながら実施・廃止の検討をするのも学校運営協議会の役割である。思い切った形で毎年見直しを図ってブラッシュアップしてほしい。

次に地域学校協働活動推進員がまだ全校に配置されていないので、今後とも進めてほしい。特に中学校への配置率が低いので、配置を進めてほしい。

これは社会教育青少年課の範疇ではないが、各校の学校経営のグランドデザインにコミュニティ・スクールの位置づけを明記している学校としていない学校がある。興味があるので、各校のホームページに学校経営のグランドデザインにコミュニティ・スクールの位置づけ、役割を載せてほしい。西山形小学校のホームページには令和6年度西山形小学校・学校運営協議会（コミュニティ・スクール）運営基本方針と1ページ使って公開していた。こうしたことを小中学校の校長会で話題にいただき、公開の仕方を検討してほしい。ホームページの充実度に学校によって差がある。以前はもっと充実していたように思う。

委員

霞城公民館について、事務長が暑い中に草刈りをしていた。駐車場付近は草だらけになっている。公民館をきれいにする予算を付けてもらわないといけないのではないか。

学校はコロナによって、大きくスタイルが変わった。新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類になったにも関わらず、卒業式・入学式などの行事に、どの学校も町内会長への案内がなくなった。学校は地域のものとして、地域の会長を呼ぶ方が良いのではないか。

公民館の見た目、使いやすさを大切にしたい。文化祭の時は草取りもしたが、除草なども考えていただきたい。

委員

9ページ（4）学校運営協議会事業、地域学校協働活動事業について、校長会としても推進していくべきと感じている。令和4年度頃に立ち上がった学校も多いが、コロナによる交流のストップなどにより、今年度が動き出しという現状もある。地域の意見を取り入れ、「地域とともにある学校づくり」を根本としたい。地域の声を反映した学校経営、そして学校課題の解決の場となるような学校運営協議会を目指したい。将来、地域を担う子どもたちを育てることも重要である。ご指摘のあったコミュニティ・スクールの情報公開を校長会でも共有して進めたいと思う。

委員

コミュニティ・スクールでやることや5ページのコンテンツ（地域学校協働活動）の内容をどう決めているのか。

事務局 学校運営協議会で出された課題を解決するため、あるいは学校運営の基本方針を実現するために必要な地域学校協働活動について学校運営協議会の熟議を通して話し合われて生み出されることがある。またはこの授業を地域と一緒に行うことで、子どもの力がもっと伸びる、子どもの願いがもっと実現されるだろうという担任の先生の思いによる活動がある。これまで長年行ってきた活動もある。

委員 3つ話したい内容がある。1つ目として、地域学校協働活動でたくさんの活動が行われ、子どもたちも楽しいだろうと思う一方で、アイディアが出なくなる場合がある。次々と新しいことを考え、アイディアが思いつきのレベルになると消耗品のようになる。そういった疲れを感じてはいないのか。コンセプト・ワークが大事になるのではないだろうか。たとえば社会教育の方針にある「生涯学び、人と地域とかかわり、よりよい社会を築く人づくり」とあるが、この方針を根幹に、達成するために何ができるかを考えるとアイディアが枯渇しなくなる。思いつきレベルで活動を企画するのは楽しいことだが、万が一枯渇した場合、論理で考えていくコンセプト・ワークというセーフティーネットがあるとコンセプトの安全性が保たれる。教育を受けた子どもたちにどうなってほしいか言語化されることがコンテンツの生み出しやすさに繋がる。神戸市では「市民をクリエイティブにする」というコンセプト・ワークがある。神戸市の「kiito」というQ1が手本とした施設や長野県の信州アルプス大学という民間運営の施設には、受けた人たちに「こうなってほしい」というコンセプト・ワークがあり、受け手にとってもわかりやすい状態になっている。

2つ目は公民館の講座について、見せ方も大事であり、ネーミングの工夫ができるのではないかと感じた。企業や全国の自治体の講座をホームページで見ることができるので、講座名の参考にしてみてもどうか。ライフスタイルの多様化により、メインカルチャーがなくなり、サブカルチャーの集まりとなったと言われている。公民館の利用率が話題となったが、それを解消するために5人、15人、30人での講座といったように、人数別の講座を企画することで公民館の利用の仕方も柔軟になるのではないかと。

3つ目として、大人や高齢者の位置づけをはっきりさせてみるのもおもしろいのではないかと。岡山県の久米南町は高齢化率が44.9%で県内1位。82歳でも若手といわれるような地域ではあるが、みんな生き生きしている。町長との対談で、日本では高齢化が問題視されているが、久米南町の考え方では高齢者が一人いなくなるのは図書館1個分の知識が失われることと同じであると発言していた。知識と経験をたくさん持っている人がいるので、先生をお願いしたり、悩み相談したりするのもよいと思う。例えば40歳以上の方が経験したことを子どもたちに伝える講座などはいかがでしょうか。

委員 小学校の子どもたちは、半分は学校で学んだことで成長し、半分は家庭・地域で学んだことで成長していくと思う。月1回の資源回収や夏祭りなどの公園を利用したイベントなど、地域のイベントを楽しみにしていて、実施してくれることに感謝したい。5ページにある各校の地域学校協働活動だが、中学生は地域から大きな志を抱いて市外・県外・国外へと目を向けていく時期となり、自分を広げるスタートの段階といえる。小学校時代に地域に目を向け、根差していくことで子どもたちの土台となり、地域の外で活躍することが

できるのではないか。学校運営協議会や地域学校協働活動が制度化されたことをきっかけとして、学校教員は行事や地域の活動の見直しや精選を図り、子どもたちの望みは何か、子どもたちに必要なものは何かを考え、修正・アップデートできるようになった。

大曽根小学校の放課後子ども教室は、他校に広がるかは疑問である。放課後に学校は空いているが、その指導やケガなどの問題もある。行政主体型放課後子ども教室は市内全小学校児童対象でありがたいが、現実的には隣の学区ぐらいまでしか行けないだろう。

委 員 まちなかサードプレイスは大変にぎわっていて、成功と言える。高校生の活発な行動力が成功に繋がり、十分な手ごたえを感じた。サードプレイス Jr. は中学生に対してどのように仕掛けるか興味深い。中学生の場合、部活動が大変だろう。学校外の活動も認められているものの、代表生徒だけが参加するのではなく、広く参加できるような募集が望ましい。若者支援事業の「リア塾」は終わってしまったが、何かしらの方法でリア塾の対象とされていた市民にも活動の機会があると良い。

また、西部公民館についてだが、学習スペースは良い取り組みである。照明については数年前からの課題だが、まだ改善されないのかというのが正直な感想。一部分が脚光を浴びて、肝心なところがまだというのは残念である。

座 長 いろいろなアドバイスをいただいた。参考となるもの、検討が必要なものなど様々だったが、事務局として検討をお願いしたい。報告について終了し、その他に移る。

#### (6) その他

##### ア 第15回山形県社会教育研究大会について

※ 事務局より資料に基づき説明。

##### イ 山形市子ども会育成連合会の会報について

※ 事務局より資料に基づき説明。

座 長 | ご質問等はないか。スムーズな進行へのご協力ありがとうございました。

※ 新関代表委員、座長席を退席

#### (7) 閉会（社会教育青少年課社会教育推進総括主幹（兼）社会教育青少年課長補佐）